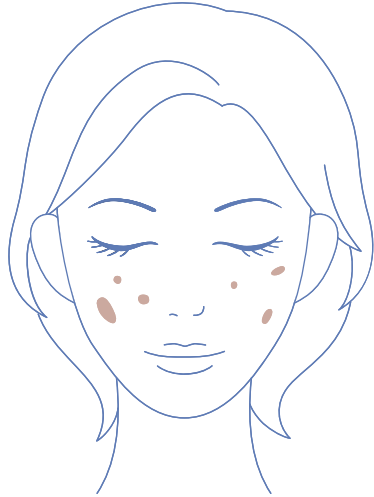


その他のシミ

その他のシミは、左右対称ではなく現れます。
ただし、対称性真皮メラノサイトーシスは
左右対称に現れることで肝斑と勘違いされることがあります。



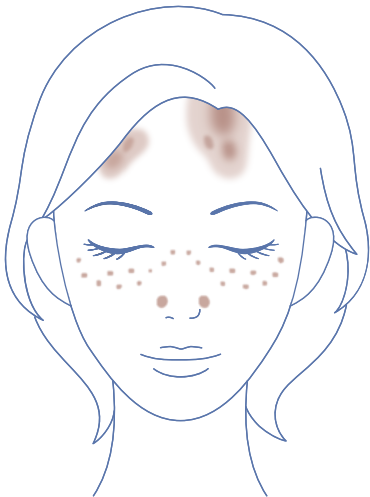
日光黒子 (老人性色素斑)

平らで境界がはっきりした黒っぽいシミ。中年以降に増える色素斑で、基本的には左右対称ではありません。ただし、たまたま両ほほあたりにできる場合もあります。また、この濃いシミの下に薄い肝斑が広範囲に生じているケースもあります。



ソバカス

雀卵斑ともよび、直径数ミリ以下の小さいシミ。ほほや鼻の周りなどに多く出ます。3歳頃から出始めて、思春期に特に目立つようになります。



対称性真皮メラノサイトーシス (ADM※)

左右対称にあり、ほほや額などに小さいまっい色素沈着が散在的に見えたり、集まって見えます。ほほのあたりに集まる場合、左右対称のため肝斑と見間違えるケースがよくあります。季節によって薄くなったり濃くなったりなどの変動が少ない色素斑です。

※ ADM : acquired dermal melanocytosis



炎症後色素沈着

ニキビや化粧品などによる肌の炎症が治ったあとに生じる褐色のシミで、年齢・性別に関係なく現れます。顔以外にも全身にできるものです。